

令和7年度
校長だより

あかつき 2月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～

丹波市立新井小学校 校長 荻野由香里



熟議「R8 こんな学校にしたいなプロジェクト」開催

立春を過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ厳しい寒さが続いております。地域の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も残すところ1カ月余りとなりました。どの学年も、生活や学習のまとめを意識しながら教育活動に取り組んでいます。特に6年生は、小学校生活6年間のよい締めくくりができるよう、子どもたちと話し合いながら卒業に向けた活動を進めています。

1月23日（金）には、オープンスクールに合わせて「R8こんな学校にしたいなプロジェクト」と題した熟議を開催しました。この熟議には、来年度、新井小学校のリーダーとなる5年生の子どもたちをはじめ、5年生の保護者・PTA 役員・学校運営協議会委員・民生児童委員の皆様にご参加いただきました。子どもと大人がグループになり、学校や新井地区の好きなところを交流したり、大人の方から小学生の頃の学校生活や頑張っていたことを教えていただいたりしました。また、5年生から、新井小学校をどのような学校にしたいか、そのために6年生としてどんなことに取り組みたいかを伝えました。



子どもたちは、給食にクジラの肉が出ていたという話に驚いたり、今と変わらず「あかつき山」が楽しい遊び場だったことに共感したりと、大人の方との会話をとても楽しんでいました。そして、これからもたくさんの思い出ができる、楽しい新井小学校にしたいという気持ちを新たにしていました。

学校教育活動を進めるにあたり、地域の皆様にはさまざまな形でお力添えをいただいておりますが、子どもたちとじっくりお話しいただく機会は多くはありません。今回は、顔を合わせて交流していただく貴重な機会となりました。今後も、地域の皆様と子どもたちがつながる機会を広げていければと考えております。

ご参加いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

「食で育む にこ・はき・どん」 ～ふるさと新井の特色を生かして～

前回の校長だよりでもお伝えしましたが、1月30日（金）に、「地域の特色を活かした食育推進事業」推進校の研究発表会を開催しました。兵庫県教育委員会や丹波市、丹波篠山市の教育委員会、兵庫県の食育推進に関わっておられる関係者の方々、そして、丹波市・丹波篠山市の小中学校の先生方等、多くの皆様にお越しいただきました。

2年生と6年生の授業も参観していただき、子どもたちが前向きに学習に取り組む姿や、自分にとって大切な「食」について真剣に考える様子を褒めていただきました。2年生の授業では、家族の方から書いていただいた手紙を子どもたちが読む場面がありました。手紙には、小さい頃から健康を願って食事を用意し、苦手なものも少しでも食べられるように工夫をしてこられたこと、そして、子どもの成長を心から願う温かい思いが込められていました。それを読む子どもたちの嬉しそうな表情が大変印象的でした。

授業の振り返りでは、「家に帰ったら、お母さんに『ありがとう。』と言いたい。家や学校でごはんを食べるとき、残さず食べたい。」「毎日、気持ちをこめてごはんを作ってくれていることを知らなかった。わたしも気持ちをこめて、『いただきます。』『ごちそうさまでした。』と言いたい。」など、家族の思いを受けとめて、今後の自分の行動に活かそうとしている姿が伺えました。ご協力いただいた保護者の皆様に感謝するとともに、学校と家庭が連携して、子どもたちのよりよい成長を支えることの大切さを改めて感じました。



今年度、食育推進校として実践を進めてきたことで、生きることの基本となる「食」は、単に空腹を満たすだけでなく、体と心の両面を育み、豊かに過ごすための軸になることを学びました。今後も、家庭や地域と連携した取組を継続していきたいと思えます。

「感謝」のちから

現在、イタリアで「第25回冬季オリンピック ミラノ・コルティナ大会」が開催されています。時差があるためライブ観戦はできていませんが、テレビのニュースで熱戦を目にするたび、選手たちのパフォーマンスに胸を打たれます。競技によっては、たった数秒で勝敗が決まるものもあり、その一瞬のために積み重ねてきた努力を思うと、技術だけではなく、内面の充実も大きく影響するのだろうと感じます。

世界の舞台で活躍する選手たちがインタビューでよく語るのは、周囲の人々や支えてくれた人への感謝の言葉です。「感謝がアスリートの強さにつながる」という研究もあり、感謝することで、失敗や敗北からの立ち直りが早くなったり、難しいことでも挑戦できる！という自信が高まったりするそうです。今年度を振り返るこの時期、私自身も身の回りの支えに目を向けながら、感謝の気持ちを大切にしてお過ごしていきたいと思っています。